

事務事業名	在来下水対策事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	土木課	H29係等名	市街地基盤整備係		H28担当課等名	土木課		
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
	施策	41	災害対策の推進					
目的	対象(誰・何を)	橋南地区、橋北地区、東野地区の排水不良地区内戸数。			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	在来下水の不良か所を補修することにより、大雨や台風の被害を最小限にとどめる				対象戸数:戸	19	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	単年度整備済対象戸数:戸		20	18	20	19	
	定性目標							
事業概要	・昭和22年の大火前から橋南地区、橋北地区、東野地区に布設されている在来下水管の老朽化により不具合が生じている箇所について、機能回復を図るため早期に整備を進める。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	橋南、橋北、東野地区一帯の在来下水の整備			施工延長		L=58.7m		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		9,482	2,450	2,441	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		9,482	2,450	2,441				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		9,482	2,450	2,441	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	・閉塞箇所の多い在来下水箇所において、2カ所の水路改修を行い機能の回復を行った。 引続き、滞水箇所・断面不足箇所の多い在来下水箇所の整備を行っていく。							
改革改善の考え方	①問題点	民地や建物の地下に存在する場合には、その布設替えが困難な箇所が多く、課題となっている。また、住宅の建替えにより突発的に布設替えが必要となる事がまれにあり計画的な施工が難しい。						
	②改革提案	滞水箇所や開渠部など、環境問題や、安全対策が必要な箇所を計画的に施工する。水道老朽管布設替えなどの計画とあわせ集中的に対策を講じる。						